

福島県協同農業普及事業外部評価会
(課題3 地域づくり)

県オリジナル品種（あぶくまもち）を
活用した地域農業の活性化

相双農林事務所農業振興普及部

福島県飯舘村産もち米 「あぶくまもち」を使用した商品を セブンーイレブンで販売！



販売期間 令和6年9月～12月
販売エリア 全国
(2024冬ギフトのカタログ商店として)



販売期間 令和4年～(期間限定)
販売エリア 県内全域 (R6年度)
(新地町, 相馬市, 南相馬市, 浪江町を除く)

1 背景・ねらい



飯舘村の概要

- ・ 標高約450m
- ・ 冷涼な気候を生かし、畜産や野菜・花き等の園芸品目の生産が盛んに行われていた。

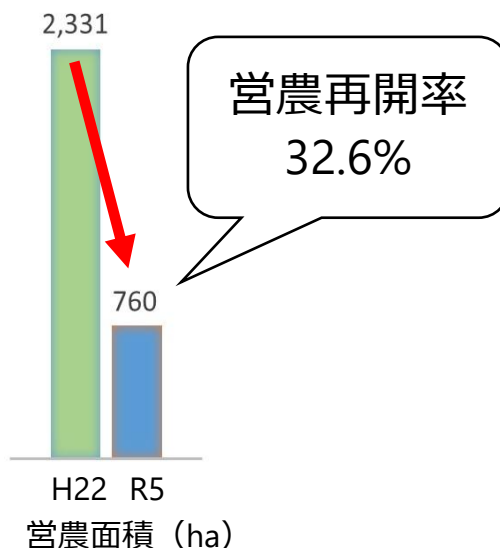
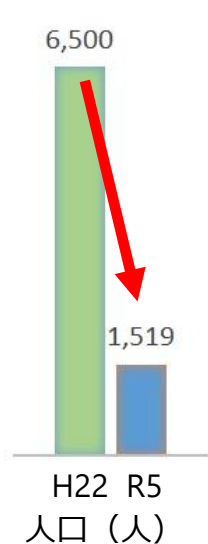
- ・ H23.3 東日本大震災・原子力災害

→飯舘村**全村避難**

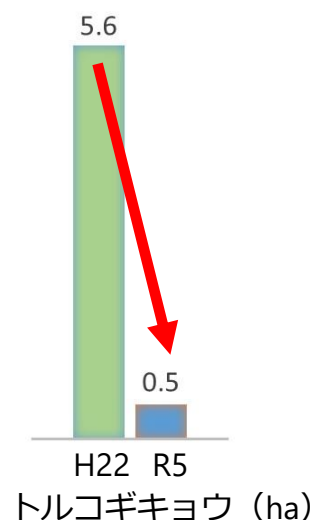
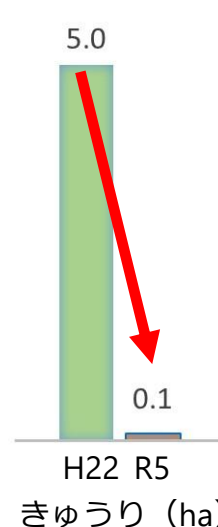
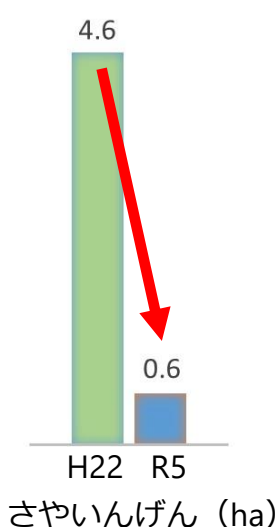
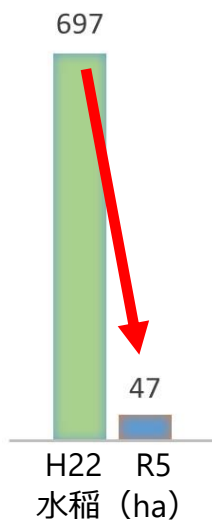
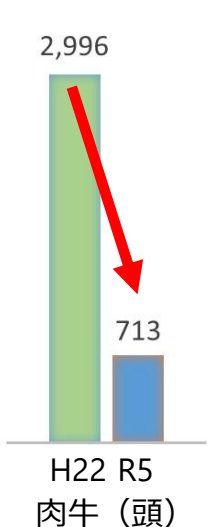
- ・ H29.3.31 飯舘村の避難指示解除（一部地域を除く）

1 背景・ねらい

【村の状況】



- ・ 営農面積は激減
→ 営農再開に向け、
対策を講じる必要
がある



1 背景・ねらい

普及の
視点

村の現状を整理し、村の特性を生かした対策が必要

【現状】

担い手不足

農業経営が
脆弱

産地の消滅

○限られた労力で大規模生産可能

○安定生産・安定取引できる

○村のPRとなる

品目の導入



1 背景・ねらい

あぶくまもち

- ・福島県が中山間地用のもち米として平成21年に育成した県オリジナル品種

- ・震災前は村の**もち団地**で20ha栽培されていた

→ 全村避難で幻の品種に



○大規模生産が可能であり、業務用としての安定した取引が見込まれる。また、他に生産している産地がないことから村のPRとなる。

1 背景・ねらい

村の
おもい

飯舘村ならではの品目により村内外へPRし、
営農再開の加速化と産地復活へ繋げたい

- あぶくまもちを地域農業の復興を牽引する品種としたい
- あぶくまもちの復活により、もち団地を再建し復興のシンボルに



1 背景・ねらい

村の現状に合った
品目の産地化

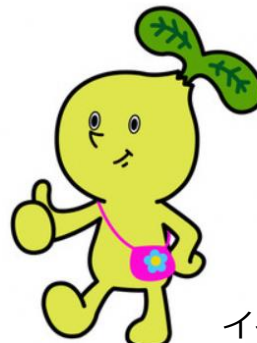
普及



ベコ太郎



あぶくまもちによる
もち団地の再建・
復興のシンボル化



イイタネちゃん

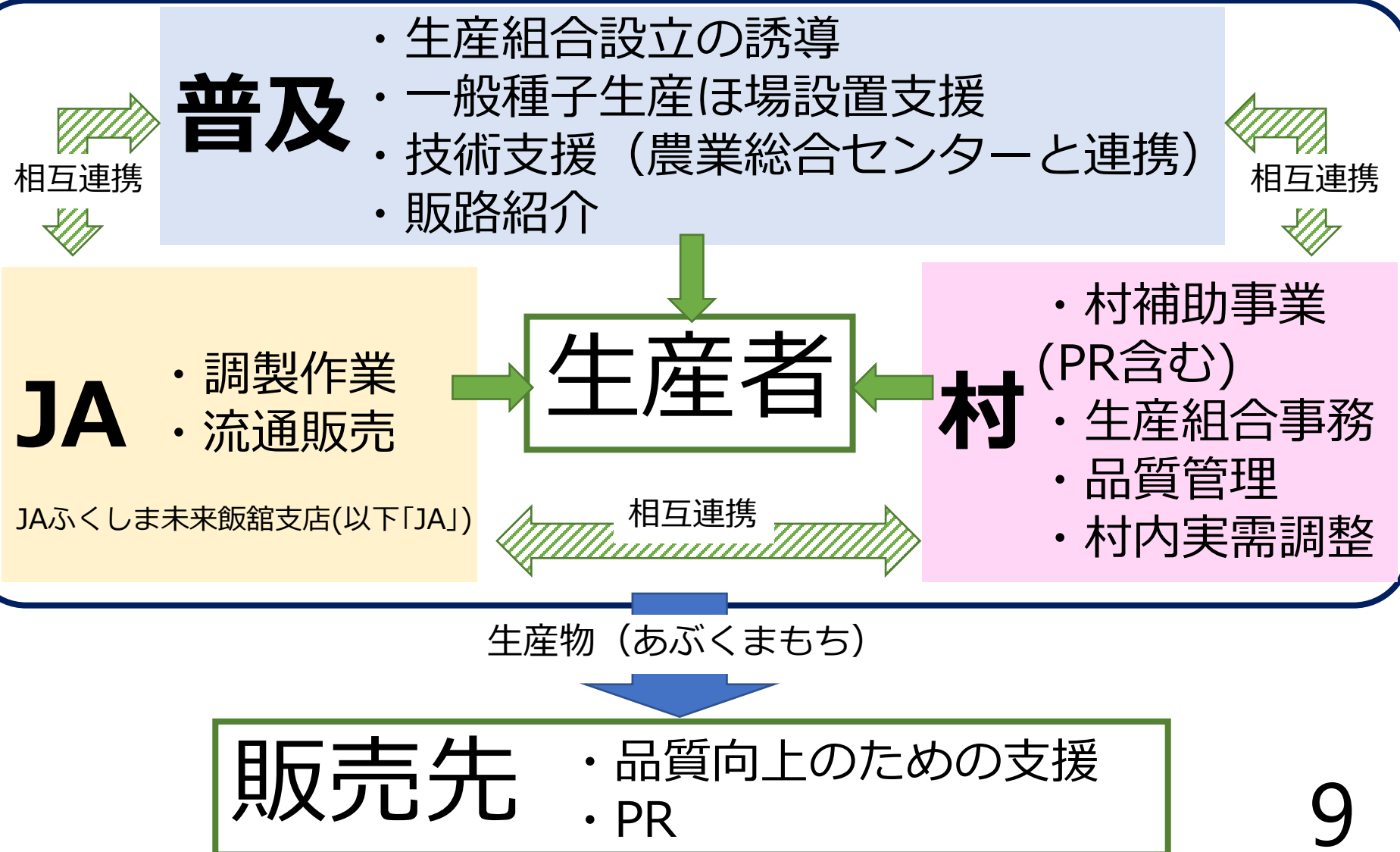
村

【ねらい】

あぶくまもちを復活・産地化し、
飯舘村の「顔」に！

2 活動内容

推進体制



2 活動内容

活動の視点

① 安定生産



② 需要の確保



③ 村内外 P R



2 活動内容

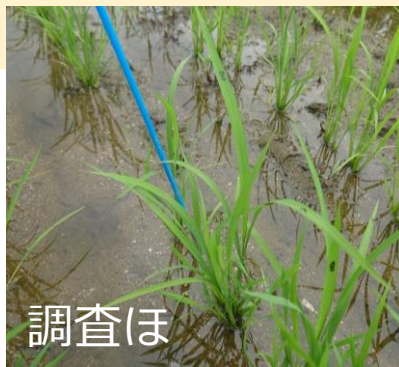
①安定 生産

村内での生産組織設立及び種子生産体制を確立し、生産量・品質の安定化を図る。

普及 ・ 飯舘村あぶくまもち
生産組合設立誘導
・ 栽培指導会開催・栽培暦作成
・ 一般種子生産ほ場設置支援等

村 ・ 求評会開催
・ 生産組合事務局 等

JA ・ 生産等基準検査、
農産物検査 等



2 活動内容

②需要 確保

安定需要の確保と商品開発により、生産者の意欲向上と生産拡大を図る。

普及・包括連携協定による販路の紹介
・品質確保（チェックシート作成）

村・品質管理、商品の提案等

JA・収穫物の調製、物流



2 活動内容

②需要 確保

安定需要の確保と商品開発により、生産者の意欲向上と生産拡大を図る。

収穫したコメの調製過程におけるチェックシートを作成、取引先の担当者を交えた現地確認を行い、信頼性の向上と安定した需要確保を図った。

取組の結果、大手取引先で商品開発が進むとともに、安定した需要が見込まれることとなり、生産者の意欲向上と生産拡大につながった。

チェックシート

	機器名称	確認事項	サニテーション方法	確認者
①	グレンタンク	・タンク内の残米確認	・エアースクリーニング	横山
②	スクリュコンベア	・コンベア内の残米確認	・分解後、エアースクリーニング	横山
③	張り込みホッパー	・ホッパー内の残米確認	・エアースクリーニング	横山
④	昇降機	・昇降機内の残米確認	・空運転後に分解、エアースクリーニング	横山
⑤	上部コンベア	・上部コンベア内の残米確認	・空運転後に上部コンベアの残米排出、エアースクリーニング	横山



2 活動内容

③ 村内外 P R

飯館村内外へ復興をアピールし、帰村意欲向上と
営農再開を図る

普及・県オリジナル動画で発信
・知事表敬訪問調整 等

村・新聞社訪問
・村PR事業 等

JA・PR活動への協力 等



E Village Life いいたて | 福島県飯館村

2023年12月17日 15:07

飯館村産あぶくまもちの商品紹介

11月28日から中通りのセブン-イレブン282店舗で販売している、
「五目おこわ」と「赤飯おこわ」。... さらに表示



14

1 4

「いいね！」

コメントする



動画サイト二次元コード

14



3 活動成果

成果測定事項

「あぶくまもち」栽培面積

	R 4	R 5	R 6
目標	—	2 6 0 a	3 0 0 a
実績	7 0 a	2 3 0 a	8 4 0 a

販売先の確保
生産技術の向上により、
大幅に増加！



「あぶくまもち」生産者数

年	R 4	R 5	R 6
人	3	3	3

3 活動成果

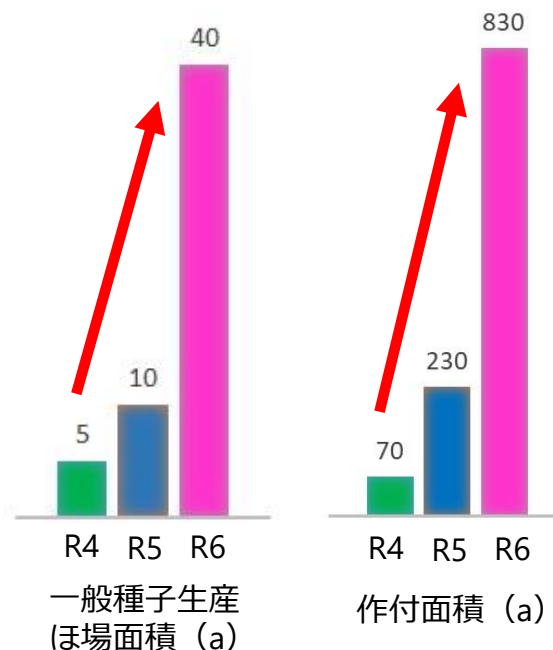
① 安定 生産

生産・販売体制を確立し、継続的に発展する産地の
礎を築いた。

- ・ 飯舘村あぶくまもち生産
組合を設立 (R3年12月)
- ・ 一般種子生産ほ場を設置

(R4年4月)

- ・ 生産・販売のための
スキームの確立

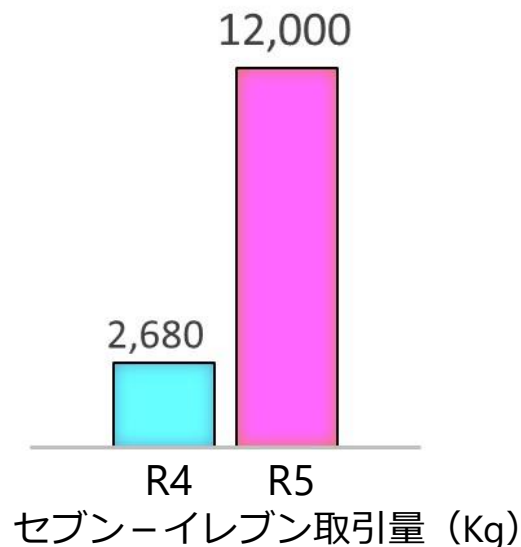


3 活動成果

② 需要確保

大手企業への販路確保と村内需要の拡大ができた。

・ (株)セブン-イレブン・ジャパンが期間限定でおむすびを商品化



・ 村内需要も高まり、村内加工業者があぶくまもちを使用した商品を開発・販売



村内で開発されたパウンドケーキ

3 活動成果

③ 村内外 P R

幅広く情報発信を行い、村内外にあぶくまもちと復興の進展を印象づけた。



福島県知事表敬訪問



大学との連携

他にも
新聞記事掲載（計4社）

4 今後の方向性・展開

視点

短期・中期の方向性を生産組合や関係機関で共有、あぶくまもちを核とした復興・創生に向けて取り組む

	安定生産	需要の確保	村内外PR
短期 〔3年〕	・ 村内ライスセンター利用 ・ 販売先との意見交換会	・ 村特産品づくり ・ 村内需要拡大	・ 村広報等による帰村者の拡大、営農再開の促進 ・ 関係人口増加のため、多様な媒体の活用
中期 〔5年〕	・ 震災前の栽培面積20haの達成	・ 大手企業及び村内加工品の定番化	

最後に

これからも、**あぶくまもち**を飯舘村の「顔」として「**までい**」に取り組みます！

今年もあぶくまもちのおむすびを販売しました！

年末のギフトとして切り餅が販売されました！



ベコ太郎



イイタネちゃん

ご清聴ありがとうございました！